

《電池寿命と交換について》

お買い上げいただいた時計は生産時に新しい正常な電池を組み込んでいます。お買い上げいただくまでの期間も作動し続けているため、ある程度は電池を消費しております。この為、お買い上げ後、規格寿命に満たない内に容量が切れることがあります。予めご了承ください。
 なお、保証期間内であっても電池交換は有料となります。
 ※電池容量が切れた時は、お早めに電池交換を行ってください。そのまま放置すると故障の原因となります。

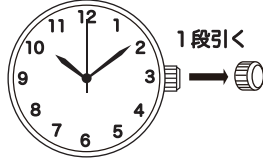
《時刻の合わせ方》

3針タイプ

秒針が12時の位置に来たら、リュウズを1段引いて秒針を止めます。

リュウズを回して時刻を合わせます。分針を合わせる時刻より数分進めてから逆に戻しながら正しい時刻に合わせます。

時報サービス(TEL.117)などの正確な時刻に合わせてリュウズを押し込みます。リュウズを押し込むと動き出します。



カレンダー付きタイプ

A --- 日付と曜日があるタイプ

B --- 日付表示のみのタイプ

*日付位置が下図と異なる場合がありますが、操作方法は同じです。

時刻の合わせ方 A B
 秒針が12時の位置に来たら、リュウズを引いて秒針を止めます。リュウズを回して時刻を合わせます。分針を合わせる時刻より数分進めてから逆に戻しながら正しい時刻に合わせます。時報サービス(TEL.117)などの正確な時刻に合わせてリュウズを押し込みます。
 ※午前・午後を間違えないようにしてください。

日付の合わせ方 A B
 リュウズを回して日付を合わせます。

曜日の合わせ方 A
 リュウズを回して曜日を合わせます。
 ※日付と反対に回して曜日を合わせます。

◎正しい日付・曜日表示の合わせ方

※日付は31日制になっておりますので、2月、4月、6月、9月、11月の月末には修正が必要です。
 ※午後9時から午前6時の間にカレンダー合わせの操作は行わないでください。この時間帯に合わせようとしても日付や曜日は変わらないことがあります。無理に動かすと故障の原因となります。ご注意ください。

この時間帯を避けて日付や曜日合わせ操作を行ってください。
 ※日付・曜日が昼間に変わってしまう場合は午前・午後合わせがずれています。下記の手順で修正してください。

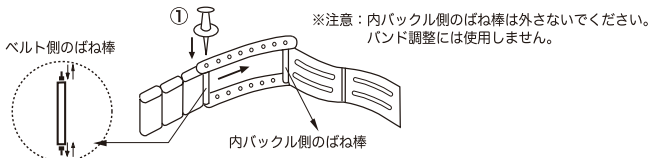
- ①午前・午後を正しく設定する為に1日前(昨日)の日付・曜日を一時的に表示させます。
 - ②日付が今日になるまでリュウズを回して時計を進めます。午前12時前後で日付表示が切り替わります。そのままリュウズを回して針を進めて現在の時刻に合わせてください。曜日表示は午前2時くらいから午前4時くらいの間に切り替わります。
- 現在時刻が午後の場合は一旦12時を過ぎるまでリュウズを回して針を進めてから時刻合わせを行うことで午前と午後が正しく合わせられます。

《バンドサイズの調整方法》

バンドのサイズ調整方法は製品によって異なります。お買い上げ商品のバンド形状をご確認ください。
ジャバラ・テグス・バングル形状の計時はバンドサイズの調整は出来ません。なお、これらの製品に想定以上の力が加わったり開きすぎますと、破損の恐れがございます。お取り扱いにご注意ください。
 ※スライダーの余った部分のカットは出来ません。
 ※表記外のサイズ調整の場合やご自身で調整が出来ない場合、専用工具が必要な場合などは時計販売店、もしくは当社サービスセンターまでご相談ください。

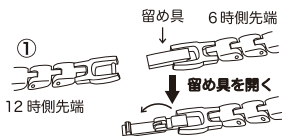
3つ折バックル式バンドの調整

- ① 先端の細い金具を使いベルト側のばね棒を押さえます。
- ② ばね棒が飛び出さないよう指でカバーしながら、ベルトを手前にスライドさせバックルから外します。
- ③ ベルトを適切な位置で固定してください。



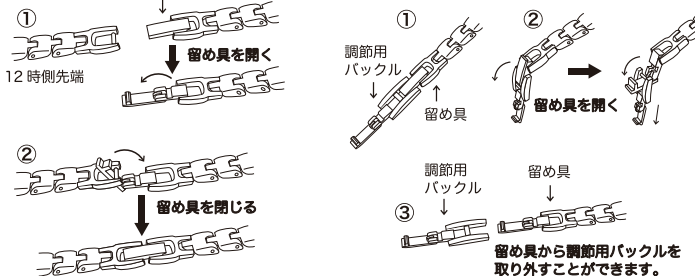
プレスレットタイプの付け方

- ① 6時側先端の留め具(バックル)を開きます。
- ② 12時側先端に開いた留め具を通して留め具を閉じます。



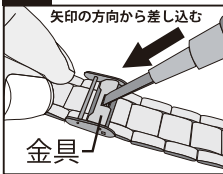
ダブルバックル・トリプルバックルタイプについて

長さ調整用バックルを取り外すことにより、ベルトの長さを調節できます。(ダブルバックルの場合、長さ調整用バックル1個、トリプルバックルの場合、2個付属します。)

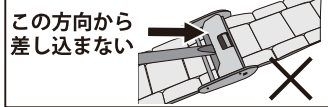


スライダー式バンドの調整

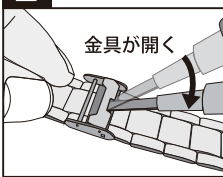
- 1 マイナスドライバーを金具に差し込みます。



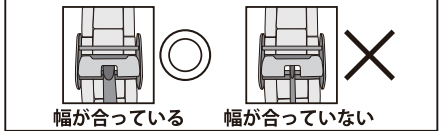
注意 逆側からドライバーを差し込まないでください。この方向から無理に開こうとすると金具が破損します。



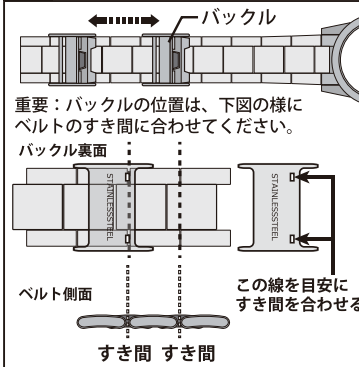
- 2 差しした状態で、ドライバーを下げると金具が開きます。てこの原理です。



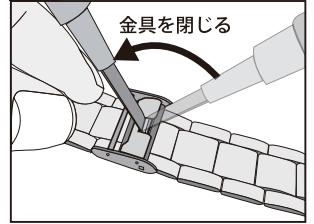
注意 必ず幅の合ったドライバーを使用してください。幅の細いドライバーでは、金具が破損する恐れがあります。



- 3 バックルをスライドさせて位置を決めます。



- 4 再度、ドライバーを金具に差し込み矢印の方向に戻します。



注意 ※すき間に合っていない位置で無理に金具を閉じないでください。破損の原因になります。
 ※すき間に合っている場合でも、金具が硬く閉じない場合は、少し金具位置をずらすなどして、閉まり易い位置で閉じてください。

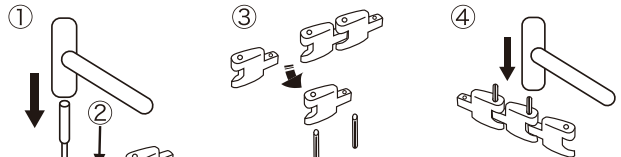
ヘアピンタイプのバンド調整

※サイズ調整には特殊工具が必要です。

コマが連結して1本のベルトになっています。連結部分は金属のヘアピンで固定されています。

- ①先端の細い金具を使いヘアピンの頭側を叩いて外へ押し出します。
- ②手順①を繰り返すと1つのコマが取り外せます。
- ③ベルトが適切な長さになるまで必要な数のコマを取り外します。
 ※手順①および③を行う際、ヘアピンは必ず頭側から押し出してください。先端側に必要以上の力をかけるとヘアピンが壊れる可能性があります。
- ④ベルトを繋ぎ合わせヘアピンをコマ穴に差し込みベルトを固定します。この時、必ず頭側からコマ穴に差し込んでください。ヘアピンの先端部分を上から垂直に叩いてコマ穴にヘアピンが全て入るまで叩いてください。
 ※先端部分がはみ出していないか最後に確認してください。

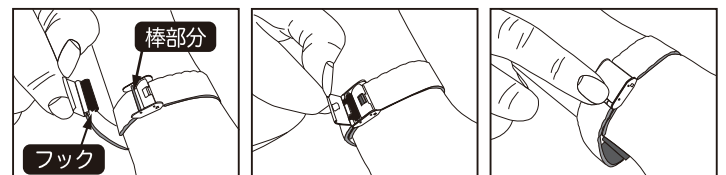
《ヘアピンタイプ》



※コマの形は商品によって異なります。

スライダー式バンドのとり付け方

※スライダー式バンドの商品をご購入された方へ



- ① 時計を腕に巻き付ける。
- ② フック部分をバックルの棒部分に引っ掛ける。
- ③ 留め金を指で押ししっかり閉じる。

※フック全体を棒にしっかりと引っ掛けてください。

【防水性能について】

◎防水性能のある時計は右図の内容でご使用ください。

◎温水や温泉での使用は防水性能を損なう恐れがありますのでご注意ください。

※防水表示は、時計の文字盤もしくは表蓋に明記してあります。

何も防水表示がないものは、非防水です。

防水表示	一時的にかかる水滴(洗顔・雨など)	水仕事	水泳	ダイビング
非防水	×	×	×	×
3BAR 日常生活防水	○	×	×	×
5BAR 日常生活強化防水	○	○	×	×
10BAR 日常強化防水	○	○	△※	×
20BAR スポーツ防水	○	○	○	×

※ご使用条件によってかかる水圧が変わります。